

# VICTAULIC® 日本ヴィクトリック株式会社

ライフラインの安全、  
そして、未来を創造し続ける

## COMPANY PROFILE

会社名	日本ヴィクトリック株式会社 (THE VICTAULIC COMPANY OF JAPAN LIMITED)
代表	代表取締役社長 和田 剛二
設立	1929年(昭和4年)7月
資本金	50,000,000円
公式HP	<a href="https://victaulic.co.jp">https://victaulic.co.jp</a>
採用HP	<a href="https://victaulic.co.jp/recruit">https://victaulic.co.jp/recruit</a>
事業内容	上水道・下水道・工業用水・農業用水・ダム・発電所など幅広い分野での用途をもつ 各種管継手及び部品の開発・製造・販売並びに付帯する設計施工、コンサルティング業務
取引銀行	三菱UFJ銀行、商工組合中央金庫、日本政策金融公庫
事業所	支社：札幌、名古屋、大阪、福岡 工場：滋賀、神戸
許認可	ISO9001、ISO14001、国土交通大臣許可(水道施設工事業)、日本水道協会 日本工業用水協会、国土交通省官庁営繕部、自治省消防庁

## ADDRESS

本社(東京) 〒106-0032 東京都港区六本木1丁目8番7号 MFPR六本木麻布台ビル7階  
TEL. 03 (5114) 8531 (代) FAX. 03 (5114) 8532

滋賀工場 〒520-3035 滋賀県栗東市霊仙寺3丁目14番63号  
TEL. 077 (553) 5121 FAX. 077 (553) 5124

神戸工場 〒651-2228 神戸市西区見津が丘2丁目3番2号  
TEL. 078 (994) 6721 FAX. 078 (994) 6728

滋賀工場



栗東駅から西(琵琶湖方面)に徒歩20分 約2km

# VICTAULIC®

滋賀採用

お問い合わせ

☎ 0120-077-176

✉ [saiyo@victaulic.co.jp](mailto:saiyo@victaulic.co.jp) 採用担当:総務部 森 一暁

採用HP



公式HP



公式HP : <https://victaulic.co.jp/>  
採用HP : <https://victaulic.co.jp/recruit/highschool/>

日本ヴィクトリック 採用

# 日本でいちばん

滋賀工場へようこそ



# じゃないでる"会社

# VICTAULIC®

日本ヴィクトリック株式会社

滋賀工場採用案内

滋賀工場へようこそ

# パイプとパイプを継ぐ 人と人を絆ぐ 街と街を繋ぐ つながってたのしい!!

私たちは、管継手の分野において、高いシェアを誇る専門メーカーです。みんなが当たり前に使っている「水」暮らしに欠かせないライフラインを支えるため、つなぎ続けています。

国内シェアNo.1



休日の過ごし方はこんな感じ!

プライベートも充実!  
メリハリのある働き方ができる。

休みの日は、趣味のバイクで湖岸道路を走ったりしてリフレッシュしています。今は新しいバイクを探中です!



ライフラインを支えるため  
つなぎ続けます!

8:25までに  
出社しよう!

START!

私の1日を  
ご紹介します!!



8:30

## 朝のミーティング

みんなでラジオ体操を行った後、朝のミーティングで当日のやる事を確認します。



10:37

## 製品の受入作業

国内・海外から入荷された製品や部品を確認し、受入作業を行います。



9:00

## 製品の在庫確認

在庫が足りているかチェックを行い、足りていない時は仕入れ先へ発注をします。

12:50

## 製品の出荷業務

製品を完成させるために、塗装やプレス加工などの作業があります。作業工程表の確認や、出荷予定表を作成します。



17:35

## 退社

翌日やることをまとめて、優先順位をつけて帰ります。土日はしっかりと休みをとり、オンオフを切り替えるようにしています。

なぜ水が当たり前に見えるのか?

## 水道管が破損せず、安定供給を維持できる理由

ポイントは、管(パイプ)同士をつなぐ「管継手」にあります。通常、配管の温度伸縮や地震の動きを管継手が吸収し、破損や水漏れを防ぎますが、当社の製品は特殊な技術を活用し、地震などの災害時に水道管に大きな変位が発生しても水が漏れないように、独自の特許技術でライフラインの維持に貢献しています。発電所や空港・トンネル・浄水場・高層ビルなどあらゆる施設で管の安全を守っています。



14:00

## 製品の品質確認

引張試験機を使って、入荷された製品の材料に問題がないかを確認します。



16:00

## 情報技術開発業務

WEB 会議を使ってチーム内で打ち合わせをしたり、データベースの構築などをします。



2011年入社  
小川 真弥

製造部資材課兼務製造課  
情報技術開発部